



【実施報告書】 海の祭ismプロジェクトin熱海

一般社団法人マツリズム

更新日：2019年1月31日



目次

- 報告書要点
- プログラム概要
- 事前オリエンテーションについて
- 熱海こがし祭り当日について
- 事前事後アンケート・満足度調査の結果
- PRについて
- 【振り返り】企画概要・コンテンツについて
- 【振り返り】集客について
- 振り返り会について

目的・目標に対する成果

<目的①>

地域の祭りの賑わいを感じ、その大切さを体感するとともに、地域における本質的な価値を感じてもらう。



当初の予定より地域交流の機会が減ってしまい、参加者からも指摘をいただく。受け入れ地域側とのコミュニケーションプロセスに課題あり。次回はリスクも考慮して事前調整を密に実施する。

<目的②>

海にまつわる物語を持つ祭りへの参加経験を通じて、海への好奇心をも高めってもらう。



※事前事後アンケートより

①海が好きだ | 【子ども】 4.17→4.67UP 【大人】 3.8→4.0UP

②海に親しみを感じる | 【子ども】 4.17→4.33UP 【大人】 4.0→4.1UP

③海について興味関心がある | 【子ども】 4.17→4.5UP 【大人】 3.8→4.1UP

<目標>

参加人数20人（親子）



25人参加（大人12名、子ども13名）

その他振り返り サマリ



複数のメディアに露出できた。



オリエンテーションの参加者に祭り当日も参加してもらうことが難しかった。



集客難航・収支赤字のため、現状のままでは持続可能なプログラムではなく、要改善。

プログラム概要

プログラムの流れ

事前オリエンテーション
(6月30日実施)

祭り本番
(7月16日実施)

報告会
(9月に実施予定)

参加対象者

親子（子どもは小学生、またはその前後の年齢が対象）

コンテンツ要素

➤ 学ぶ：

- ①熱海と海、祭りと海の関連性を学ぶ
- ②海岸、海中で行われる浜降り神事を観る

➤ 体験する：

- ①山車に使われる絵を描く
- ②子供神輿を担ぐ
- ③熱海に住む人々との交流
 - ・海街に暮らす人々の文化を体験する
- ④海に触れる
 - ・熱海の海は本当に熱いのか、海水に触れてみる
 - ・海（海岸）で遊ぶ
 - ・海でゴミ拾いする



事前オリエンテーションについて

イベント概要

イベント名称	熱海こがし祭り体験プログラム 参加オリエンテーション
開催日時	2018年6月30日（日） 10:30~12:00
開催場所	Chance for All 亀田校（東京都足立区関原3-15-4）
参加対象者	親子（子どもは小学生、またはその前後の年齢が対象）
参加者数	20名（大人4名、子ども16名）
企画関係者	一般社団法人マツリズム 公益財団法人 日本財団 銀座町内会（静岡県熱海市）

当日タイムライン

時間	スケジュール
10:30~10:45	お祭りについて（マツリズム大原）
10:45~11:00	熱海について（祭りの担い手 戸井田さん） ※テーマは熱海と海の関連性について
11:00~11:15	熱海こがし祭りについて（祭りの担い手 小沢さん） ※テーマは祭りと海の関連性について
11:20~11:45	ペイントワークショップ（祭りの担い手 戸井田さん）
11:45~12:00	クロージング、企画案内

事前オリエンテーションについて

当日の様子

お祭りが何かを知ってもらおう



地域名の由来など熱海について説明



熱海こがし祭りについて知ってもらおう



親御さんに祭り参加の声掛け



山車のペイントワークショップ



集合写真



熱海こがし祭り当日について

イベント概要

イベント名称	熱海こがし祭り体験プログラム
開催日時	2018年7月16日（祝・海の日） 09:15~15:00
開催場所	静岡県熱海市
参加対象者	親子（子どもは小学生、またはその前後の年齢が対象）
参加者数	25名（大人12名、子ども13名）
企画関係者	一般社団法人マツリズム 公益財団法人 日本財団 銀座町内会（静岡県熱海市）

当日タイムライン

時間	スケジュール	時間	スケジュール
09:15	来宮駅集合		
09:30	来宮神社にお参り	14:00	フリータイム （海岸に遊びに行く／休憩）
10:35	屋内にて休憩	14:30	屋内にて振り返り実施（絵日記）
11:00	祭り参加（子供神輿）	15:00頃	解散
12:10	浜降り神事観覧		
13:00	昼食		

<当日変更内容>

- ・熱海銀座の子ども達とは別にランチを食べることになった。
（町内会の子どもが子ども会側の想定以上に多く参加し、会場に入りきらなくなってしまうため）

熱海こがし祭り当日について

配布物

しおり、海プロ団扇、海プロ説明リーフレットを配布しました。

<しおり>

スケジュール		※混雑状況や祭りの進行具合によって、時間が押したり、一部スケジュールをカットする可能性があります。
時間	スケジュール	
09:15	来宮駅集合	
09:30	来宮神社にお参り	
10:35	屋内 (naedoco) にて休憩	
11:00	祭り参加 (子供神輿)	
12:10	浜降り神事観覧	
12:30	熱海銀座の子ども達と一緒に昼食	
13:30	フリータイム (海岸に遊びに行く/休憩)	
14:15	銀座商店街に集合	
14:20	鹿島踊り観覧	
14:30	屋内 (naedoco) にて振り返り実施	
15:00頃	解散予定	



naedoco (ナエドコ)
静岡県熱海市銀座町6-6
サトウ椿ビル 2階



Cafe&Restaurant Nagisa
静岡県熱海市渚町10-5
(入口は細い通り沿いです)

<最高に楽しむための3つのポイント>

- ・初めて会う人に話しかけてみよう!
- ・迷ったらチャレンジしてみよう!
- ・知らないことはどんどん聞いてみよう!

熱海こがし祭り当日について

配布物

しおり、海プロ団扇、海プロ説明リーフレットを配布しました。

<団扇>



- 熱海銀座を意識したデザインにしたことで、熱海銀座の方々に喜んでいただけた。今年のマツリズムの活動が日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環だということがポジティブに伝わった印象がある。
- 暑かったため団扇を煽いで使ってもらうことができ、且つ、写真撮影時に団扇がアイコンとして使われていたこともあり、人の目につく機会が多く、PR効果が高いと感じた。



熱海こがし祭り当日について

当日の様子

来宮神社にてお参り



移動中のガイド



銀座商店街にて子供神輿



サンビーチにて浜降り神事の観覧



絵日記形式での振り返り



集合写真



熱海こがし祭り当日について

絵日記形式での振り返り

熱海こがし祭り体験プログラム

2018 ねんりがつ 16 日(海の日)
なまえ
よあたみでこがしまつりにて
きましました。
そこのあき
いそがしいあ
ねんりまつり
おもしろい
ました。一年つ
Copyright 2018 一般社団法人マツリズム All Rights Reserved.

熱海こがし祭り体験プログラム

2018 ねんりがつ 16 日(海の日)
なまえ
今日すなはまでおみこ
しをかついで海に入
いる人たちを見まし
そのときにと前のほう
でこんぐがきなこ
たいなこなをま
りました。
そのあとそこを遊
びました。
楽しかったびす
Copyright 2018 一般社団法人マツリズム All Rights Reserved.

熱海こがし祭り体験プログラム

2018 ねんりがつ 16 日(海の日)
なまえ
トネルをぬけると
すぐそこに神社があり
中に入ると川の音
そしてせみの鳴き
し分るをわかってい
場所かと思つた。
柿の香りがよ
がた。このような
場所がたまたまあ
りなると思つた
Copyright 2018 一般社団法人マツリズム All Rights Reserved.

熱海こがし祭り体験プログラム

2018 ねんりがつ 16 日(海の日)
なまえ
あなたが女になってあ
りてくれた。海
のすがはまでつ
けました。
Copyright 2018 一般社団法人マツリズム All Rights Reserved.

絵日記形式での振り返り

熱海こがし祭り体験プログラム

2018 ねんりがつ 16 日(海の日)
なまえ

海でおみこしを
かっていたのを
はじめに見た
のでもおもしろ
たです。足だけ海
にはいりました。さ
もろふたつです。
てもろくかまご
れてしまいました。

Copyright 2018 一般社団法人マツリズム All Rights Reserved.

熱海こがし祭り体験プログラム

2018 ねんりがつ 16 日(海の日)
なまえ

カラフルなピン
たのしかったです😊

Copyright 2018 一般社団法人マツリズム All Rights Reserved.

熱海こがし祭り体験プログラム

2018 ねんりがつ 16 日(海の日)
なまえ

Copyright 2018 一般社団法人マツリズム All Rights Reserved.

熱海こがし祭り体験プログラム

2018 ねんりがつ 16 日(海の日)
なまえ

Copyright 2018 一般社団法人マツリズム All Rights Reserved.

事後アンケートのコメント

今日の体験で出来て良かった、知って良かったこと

<大人>

- ・ 神輿が海に入る意義を知った。
- ・ **海祭りの雄大さ、海をお神輿が渡る荘厳な雰囲気を知った。**
- ・ 浜降り神事を観覧できて良かった。普段見られないので。
- ・ 海を楽しめた。
- ・ 人見知りだと思っていましたが、色々な人に話しかけている子どもを見て嬉しく思いました。
- ・ 子どもが楽しんで活動していたのが何よりでした。
- ・ 子どもに神輿担ぎを体験させられたこと。
- ・ **子供神輿を担ぐことができた（見たことはあっても担ぐ機会がなかった）ので。**
- ・ 神輿を担ぐという貴重な経験が出来た。
- ・ 地元の方々と子ども神輿を担げたこと（子どもが楽しかったと言っていたので）。
- ・ **知らない地域の祭りを楽しむことができた。**
- ・ 熱海のお神輿がこんなにたくさん盛んで地域一体となる行事であること。

<子ども>

- ・ お神輿が楽しかったです。
- ・ **二礼二拍二礼です。理由はそれを知って色々な神社に行きたいからです。**
- ・ **お神輿を持つのが楽しかった。初めてできたから。**
- ・ お神輿担いだことが楽しかった。
- ・ **海にお神輿がはいるんだなと思いました。**
- ・ お神輿をして、出来ました。

事後アンケートのコメント

今日の体験で気が付いたこと、思ったこと、驚いたこと

<大人>

- ・ 自然に触れる機会がいつも少ないので、短い時間でも体験できて良かった。
- ・ 子どもが海で遊ぶ（砂浜で遊ぶ）ことがとても好きだということ。
- ・ **子どもの関心、興味が広がったこと。歴史に少しふれる機会を得た。**
- ・ **子どもが積極的にお祭りに参加していたことに驚きました。**
- ・ **子供神輿を担ぐ機会は自分たちでつくるのが大変なのでありがたかった。**
- ・ 祭りに参加することの楽しさを実感できた。
- ・ 地元の祭りの活性化のきっかけ。
- ・ 地元の方がお祭りを絶やさないように努力されている姿が印象的でした。
- ・ 1300年の歴史のあるお祭りで担い手が少ない町内会さんのお手伝いできたのは貴重だし、時々息子にも伝えたい。
- ・ 熱海のお神輿がこんなにたくさん盛んで地域一体となる行事であること。
- ・ 日本には色々なお祭りがあるんだと思った。

<子ども>

- ・ 木が2000年も生きていたこと。
- ・ **こんなに重いんだなあと感じた。こんなに昔のものなんだとわかった。**
- ・ お神輿担いだとき重いんだなと思いました。

満足度調査のコメント

熱海こがし祭り体験プログラムの後日、参加者（保護者の方）に任意で本企画全体について満足度調査への回答をお願いしました。

良かった点

- ・子どもたちも楽しかったようで、夏休みの良い思い出になったようです。地縁的なつながりが薄く、地域の祭りに参加することを敬遠していましたが、**子供たちのためにも、今後は少しずつ参加できればと思うようになりました。**子供のことを考えると、一步踏み出そうという気持ちになれるので、このような親子体験の祭りをどんどん企画していただけると、裾野が広がっていくのかなと感じました。
- ・地域のお祭りに加わって、お神輿を担ぐというなかなかない経験ができた。
- ・神社の参拝に始まり、（それでも全然一部だと思いますが）一通り祭りの流れを解説付きで楽しめた。

改善点

- ・**もう少し子ども同士（参加者＋地元）の交流がうまくできると良かった。**
- ・今回だけの事象だったのかもしれませんが、地元の人たちと参加者が交流する時間や機会があまりなく、地元の人達も気にかけてくれたのに、なかなか接点をもてなかった気がしてます。
- ・**参加を考えた時、交通費に加えて、参加費用がかかる点がかかなり支障になった**が、参加した後は、費用に対して体験できた事が多くあったなと感じました。コスパは良い！けど、最初の敷居が高くて、なかなか参加に至らない人が多いはず。初期参加費用は極力低く抑える。どうしても必要な保険くらいにして、あとは、アドオンにする。たとえば、今回ついてた昼ごはん代は別にして自分たちで支払うとか。

【成果】PR動画

No.	掲載箇所	再生回数	掲載URL
1	Facebook	2,174回	https://goo.gl/oQmbx8
2	YouTube	237回	https://www.youtube.com/watch?v=6bnsIC5_HVs

マツリズム (Maturism)

作成者: 三浦茉依 [?] · 2018年9月20日 · 🌐

...

【New Movie!!】※シェア大歓迎です！
今年の夏に静岡県熱海市で撮影した、熱海こがし祭りでの動画が完成しました！

マツリズムでは、7月16日に「熱海こがし祭り体験プログラム」を主催し、東京・神奈川から参加した25名の親子が、銀座町内会の子供達と一緒に子供神輿を担がせていただきました。
このお祭りは、来宮神社の例大祭として、1300年以上の伝統を誇る海にまつわる物語を持っています。... もっと見る



▶

-1:00

⚙️ 📄 🗨️ 🔊

👤 友達と一緒にこの動画を見る
🎉 動画ウォッチパーティを開始

👤 あなたの動画は25-34歳の年齢層の女性に人気があります
📢 投稿を宣伝

👍👎 46
🗨️ コメント1件 シェア16件 再生2,174回

☰
YouTube



熱海こがし祭り～海の祭ismプロジェクト2018～
👍 2 👎 0 🔗 共有 📌 保存 ...

マツリズムMaturism
2018/09/13 に公開

チャンネル登録 22

【成果】メディア掲載

No.	メディア名	媒体手段	掲載URL
1	テレビ静岡	テレビ	https://youtu.be/Hzii3j9iQms
2	熱海新聞（伊豆新聞）	新聞、WEBメディア	https://goo.gl/qXpQw5
3	静岡新聞	新聞、WEBメディア	https://goo.gl/ETBXsS
4	伊豆経済新聞	WEBメディア	https://goo.gl/6MVmaA
5	Yahoo!ニュース、gooニュース、LINEニュース	WEBメディア	URL期限切れ（伊豆経済新聞より転載）

＜熱海新聞＞ 2018年7月18日 一面に掲載していただきました！

熱海新聞
平成30年（2018年）7月18日
（水曜日） 日刊



神輿を担いで銀座通りを練る銀座町内会の子どもと体験プログラム参加親子＝銀座町

熱海市の来宮神社の例大祭に合わせて16日「熱海こがし祭り体験プログラム」御風籠（ごふうろう）の浜降り神事を見が銀座町などで催された。東京、神奈川県、学したりと熱海の祭りを体感し、住民ら異から親子6組25人が参加して銀座町内と交流した。

地域の祭りの担い手「リズム」が日本財団の「マツ」と日本プロジェクトの「海」と連携する団体「マツ・海と日本プロジェクト」の理で実施した。この理では、銀座通りを練る神輿を担ぐことには、親子6組25人が参加して銀座町内と交流した。

「熱海こがし祭り」に、親子6組25人が参加して銀座町内と交流した。

「熱海こがし祭り」に、親子6組25人が参加して銀座町内と交流した。

神輿担ぎ祭り盛り上げ

東京などから「子どもも多いと活気」

親子6組

熱海市の来宮神社の例大祭に合わせて16日「熱海こがし祭り体験プログラム」御風籠（ごふうろう）の浜降り神事を見が銀座町などで催された。東京、神奈川県、学したりと熱海の祭りを体感し、住民ら異から親子6組25人が参加して銀座町内と交流した。

地域の祭りの担い手「リズム」が日本財団の「マツ」と日本プロジェクトの「海」と連携する団体「マツ・海と日本プロジェクト」の理で実施した。この理では、銀座通りを練る神輿を担ぐことには、親子6組25人が参加して銀座町内と交流した。

「熱海こがし祭り」に、親子6組25人が参加して銀座町内と交流した。

「熱海こがし祭り」に、親子6組25人が参加して銀座町内と交流した。

防炎、観光面で整備必要

下多賀町内会

道路改良 など16項目

熱海市の下多賀町内会、中部横断道路の県が中断したままの部

道路改良、観光面で整備必要

道路改良、観光面で整備必要

道路改良、観光面で整備必要



市役所での会議の様子

市役所での会議の様子

市役所での会議の様子

熱海新聞

熱海市中央町19-14
コルト山ビル1F
〒413-0015
電話 0557(81)0648
FAX 0557(83)3553

伊豆新聞本社
〒414-0054
伊東市藤田1290-6
電話 0557(36)1234
FAX 0557(83)3553

伊豆新聞ニュースサイト
http://izu-np.co.jp/

吉田博木版画展
MOA美術館
〒410-0001
7月20日～8月26日

【成果】メディア掲載

＜静岡新聞＞ 2018年7月17日

夏争 五五九 飛び行 月島門

ましのび仮装行列

伊豆・修善寺温泉街で祭り
花や焼香、冥福祈る

修善寺の山門に立つ参加者
＝伊豆市修善寺

「十三士」らで構成。頼朝は向市議員の関根介さん(26)、三景の副役は頼朝を支えた比企氏ゆかりの職工東条松山市の観光大使藤田園菜さん(26)、一幡役は地元元修善寺小3年の今井隆斗君(9)が務めた。3人は十三夜(13)の夜に修善寺の僧侶らとともに四時を過ぎ、温泉街を練り歩く。修善寺の山門に立つ参加者。伊豆市修善寺。

熱海市の来宮神社例大祭は最終日の16日、厄年の男衆が同神社の神々が鎮座する御鳳輦(ごほうりん)を担いで海に入る「御鳳輦担ぎ海中進む」などを執り行った。(熱海支局・藤孝田)

熱海・来宮神社例大祭 御鳳輦担ぎ海中進む

白装束に身を包んだ男衆は神社を出発すると、熱海サンビーチを目指して市街地を練り歩いた。砂浜に着くと、一行はてんぐの姿をした道田彦を先頭に「みょうねん、みょうねん」の掛け声を上げ、勇壮に海中を進んだ。

神事は、かつて神社の「海体が海から到着した」との故事にちなんでいる。御鳳輦は毎年、男衆が厄払いの意味を込めて担ぐ。

今回は、全国の祭りや支援する団体「マツリズム」と日本財団、総領事館が協力して企画したイベントもあり、東京都や神奈川県から参子連れ25人が神事の様子を見学に訪れた。

「浜降り神事」勇壮に

旭町二丁目が総合優勝

熱海市観光協会は16日、市内で15日続いた「熱海こがし祭り」の山車コンクールで、旭町二丁目チームが総合優勝を挙げた。旭町二丁目の山車は、花の飾りを多数取り付け、電飾を使ってきらびやかに演出した。

同町のチームは「夏だーこがしだー旭々ひー」の掛け声で、山車コンクールに出場した。旭町二丁目の山車は、花の飾りを多数取り付け、電飾を使ってきらびやかに演出した。

旭町二丁目の山車は、花の飾りを多数取り付け、電飾を使ってきらびやかに演出した。

熱海こがし祭り山車コン

海拔0から富士まで

2泊3日で参加児チャレンジ

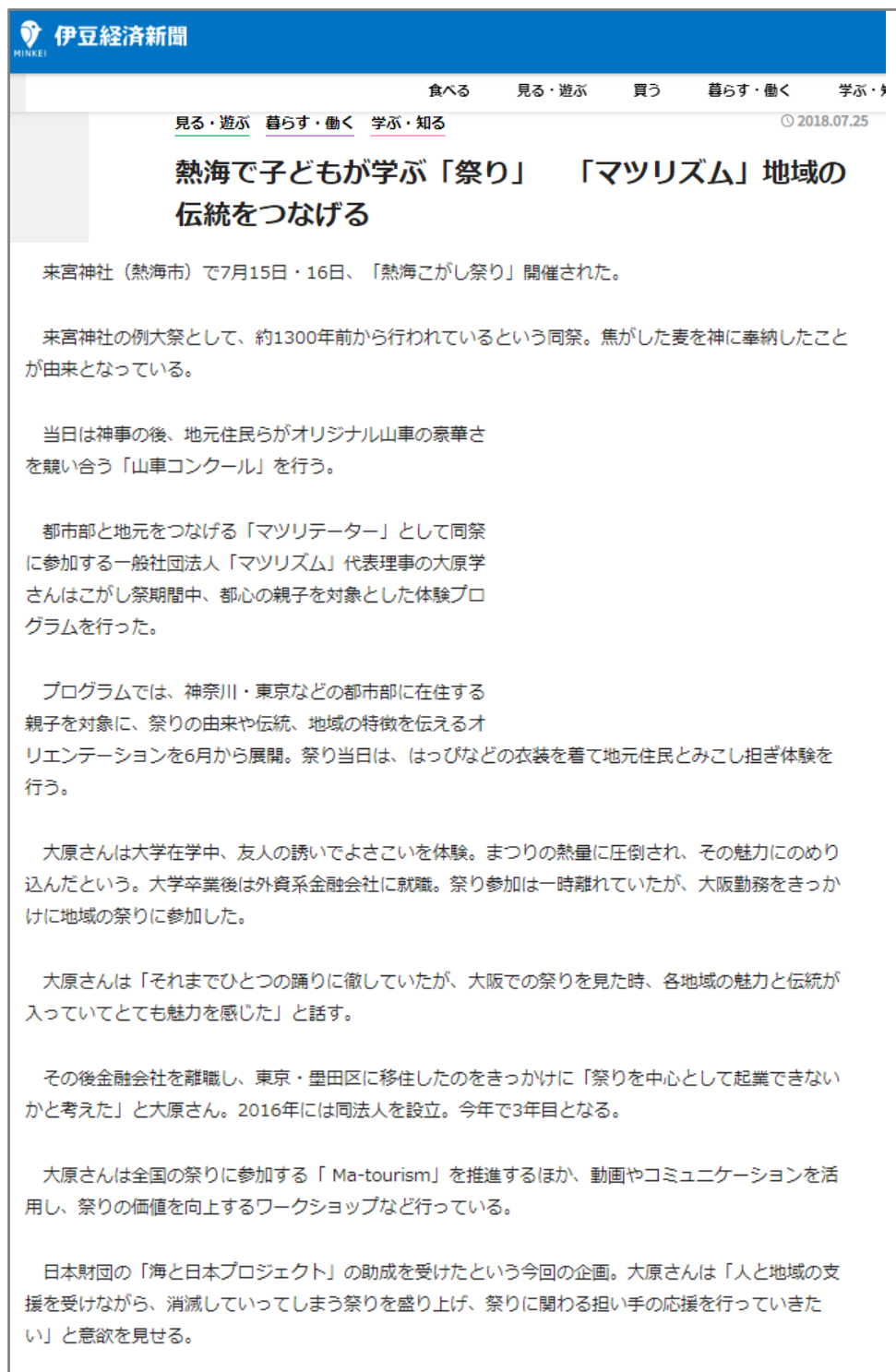
子どもたちが富士山を登山に挑戦する児童の海拔ゼロ地点から交流を深め、本町十畳山する「0から富士まで」の事前チャレンジは、市内の小中学生が参加し、27日から約3日で行

「十三士」らで構成。頼朝は向市議員の関根介さん(26)、三景の副役は頼朝を支えた比企氏ゆかりの職工東条松山市の観光大使藤田園菜さん(26)、一幡役は地元元修善寺小3年の今井隆斗君(9)が務めた。3人は十三夜(13)の夜に修善寺の僧侶らとともに四時を過ぎ、温泉街を練り歩く。修善寺の山門に立つ参加者。伊豆市修善寺。

熱海こがし祭り山車コン

【成果】メディア掲載

<伊豆経済新聞> 2018年7月25日



伊豆経済新聞
HINKEI

食べる 見る・遊ぶ 買う 暮らす・働く 学ぶ・育

見る・遊ぶ 暮らす・働く 学ぶ・知る 2018.07.25

熱海で子どもが学ぶ「祭り」 「マツリズム」地域の伝統をつなげる

来宮神社（熱海市）で7月15日・16日、「熱海こがし祭り」開催された。

来宮神社の例大祭として、約1300年前から行われているという同祭。魚がした妻を神に奉納したことが由来となっている。

当日は神事後、地元住民らがオリジナル山車の豪華さを競い合う「山車コンクール」を行う。

都市部と地元をつなげる「マツリテーター」として同祭に参加する一般社団法人「マツリズム」代表理事の大原学さんはこがし祭期間中、都心の親子を対象とした体験プログラムを行った。

プログラムでは、神奈川・東京などの都市部に在住する親子を対象に、祭りの由来や伝統、地域の特徴を伝えるオリエンテーションを6月から展開。祭り当日は、はっぴなどの衣装を着て地元住民とみこし担ぎ体験を行う。

大原さんは大学在学中、友人の誘いでよさこいを体験。まつりの熱量に圧倒され、その魅力にのめり込んだという。大学卒業後は外資系金融会社に就職。祭り参加は一時離れていたが、大阪勤務をきっかけに地域の祭りに参加した。

大原さんは「それまでひとつの踊りに徹していたが、大阪での祭りを見た時、各地域の魅力と伝統が入っていてとても魅力を感じた」と話す。

その後金融会社を退職し、東京・墨田区に移住したのをきっかけに「祭りを中心として起業できないかと考えた」と大原さん。2016年には同法人を設立。今年で3年目となる。

大原さんは全国の祭りに参加する「Ma-tourism」を推進するほか、動画やコミュニケーションを活用し、祭りの価値を向上するワークショップなど行っている。

日本財団の「海と日本プロジェクト」の助成を受けたという今回の企画。大原さんは「人と地域の支援を受けながら、消滅していきってしまう祭りを盛り上げ、祭りに関わる担い手の応援を行ってきたい」と意欲を見せる。

プレスリリース

<プレスリリース日> 2018年6月26日 (火)

<プレスリリース掲載件数> 40件

PRESS RELEASE

2018年6月25日




報道関係者各位

**祭り衣装で神輿担ぎなどを親子で体験、「浜降り」観覧もあり！
「熱海こがし祭り」体験プログラムを実施**

2018年6月30日(土)オリエンテーション/7月16日(月・祝)本番

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜わり、心より厚く御礼申し上げます。

一般社団法人マツリズムは、小学生の子がいる親子 10組を対象に、「『熱海こがし祭り』体験プログラム」を実施します。開催日はオリエンテーションが6月30日(土)、本番は7月16日(月・祝)となっています。このイベントは、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる「日本財団「海と日本プロジェクト」」の一環です。

「熱海こがし祭り」は、パワースポットとしても有名な東宮神社の例大祭として毎年7月15日16日に開催される1300年以上の伝統を持つ、海にまつわる物語を持ったお祭りです。祭りの泉所は42歳の厄年をわかせた男性が御霊籠(ごぼうれん)を担いで海の中へ入っていく「浜降り」です。本体験プログラムでは、この「浜降り」を間近で観覧できるほか、祭り衣装で神輿担ぎを体験できます。さらに、事前にオリエンテーションを受けることで、祭りや神社のつながりや伝統文化などについての理解を深めてから祭りに参加できますので、自由研究の題材に選んだ内容となっています。

マツリズムでは、今後もこうしたイベントを通じて、祭り文化の次世代への継承と地域活性化を図ってまいりますと考えております。

【概要(一般の方向け)】

イベント名	夏だ！祭りだ！熱海に集まれ！熱海こがし祭り体験プログラム
開催日(期間)	2018年6月30日(土)事前オリエンテーション 7月16日(月・祝)お祭り本番
開催場所	オリエンテーション：SodaCCo(渋谷区代官山町9-10) お祭り本番：静岡県熱海市熱海駅・東宮駅周辺
交通手段	オリエンテーション：東海東横線「代官山駅」徒歩8分 お祭り本番：JR 東宮駅集合
問い合わせ先(電話番号)	info@matsurism.com
対象	親子(子どもは主に小学生が対象)
料金	親子6,000円(大人1名、子ども1名) 大人1名追加3,000円、大人1名追加2,000円
予約・申し込みの有無	有 (https://goo.gl/xZ2rNB)
対象者	小学生 10組
内容	静岡県熱海市にて1300年の歴史を持つ「熱海こがし祭り」。マツリズムでは、7/16に親子と一緒に祭りを楽しみながら学べるプログラムを企画しました。先着10組、普通じゃ絶対にはできない体験です。参加お待ちしています！
URL	https://www.facebook.com/matsurism.jp/

<イベントイメージ>



<団体概要>

団体名称 : 一般社団法人 マツリズム
 本社所在地 : 東京都中央区日本橋馬喰町
 電話番号 : 050-5319-9350
 代表理事 : 大原 学
 設立 : 2016年11月
 URL : <http://www.matsurism.com/>
 活動内容 : 「祭りの方で人と町を元気に！」をモットーに、地域の祭りの担い手を応援する団体です。担い手不足に悩む地域の祭りや都市部の若者や外国人をつなげ、祭り文化の次世代への継承と地域活性化に貢献します。

<お問い合わせ先>
 一般社団法人 マツリズム 担当:三浦 美依
 電話:090-9311-4912 メールアドレス:info@matsurism.com

マツリズムは、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、次世代へ海を引き継ぐため、海を介して人と人とがつながることを目的として、本事業を実施しています。

振り返り

- プレスリリース後のメディアプロモートは地方局に対してのみとなったものの、静岡県内の複数のメディアに露出できた。
- 地域との調整が難航しプレスリリースが遅れた。次回はスケジュール通りに配信ができるように、調整の進め方や配信情報の書き方を工夫する。
- 熱海市長への表敬訪問は5月半ばから調整を始めたものの、実施できなかった。市長側にメリットを感じてもらえなかったことが大きな要因と考える。今回、熱海新聞への掲載記事とともにお礼状を送り、来年の表敬訪問へと繋げる。

- マツリズムとして初めて親子向けにイベントを開催。子どもが理解できるように、**言葉だけに頼らず、五感で感じて学習・体験できるようなコンテンツづくりを徹底できたことが良かった。**
- オリエンテーション参加者を祭りへの参加に繋がれなかった。
集客開始が遅れたことも大きな要因だが、**日程の組み方にも改善の余地があるため、次回は参加のしやすさも考慮していく。**

大人向けツーリズムでは祭りに興味関心のある本人が事前に学びに来るので参加が比較的スムーズ。一方で、親子を対象とする場合、夫婦間の予定を調整して親御さんが子どもを連れて出掛けることが大変であったり、子どもの習い事等で土日が忙しい傾向があることがわかった。

そのため、参加のしやすさを考慮して、1日完結で祭り当日にガイドでの学び、祭り参加での体験という要素の盛り込み方が良いのかもしれない。

- 上記以外にも、**参加を判断する親御さんにとって、行きたい／行きやすいと思ってもらえる要素が不足していたため、次回は重要な検討項目として抑えていく。**

＜要因①＞情報の曖昧さ

- ・ターゲティング：「小学生」という括りが曖昧すぎた。
- ・詳細の詰め：チラシだけを見て当日行けば良いという状態ではなかった。

＜要因②＞参加費の高さ

- ・参加前は、参加費が高く感じるという指摘あり。
→ランチ代・保険代・町内会への寄付金の実費を参加費にしていて、自主運営した場合は利益が出ない状況なので、これ以上参加費を下げる判断はしにくい。
どのように寄付金への理解をしてもらえるかが課題になるか。

- 想定外のことが起き、地域交流の機会が予定より少なくなってしまった。
今回の企画に際し、マツリズムとしては初めて子ども会と連携をおこなったが、準備段階のコミュニケーションが不十分であった。

次回はリスクヘッジした内容も含めて調整を進めていく。

- 祭りの担い手、熱海側の協力サポーターを巻き込みきれなかった。
次回は最初に十分にコミュニケーションを取り、お願いできること（経験・スキル）と、どの程度関わりたいかの意思を確認してから動いていく。

【振り返り】集客について



参加募集チラシ

親子で楽しい
思い出づくり!

対象
小学生

定員
先着10組

夏だ！祭りだ！

海の日 熱海に集まれ！

7月16日 月・祝日

静岡県熱海市にて開催！

熱海こがし祭り体験プログラム

地域の祭り
に参加できる！

地域の人々と交流して
社会性を育む！

伝統文化を学び
体験できる！

知らない文化を知って
想像力を豊かに！

自由研究の
題材にもできる！

楽しく学ぶ
体験プログラム！

熱海こがし祭りとは？

パワースポットとしても有名な米宮神社の例大祭として毎年7月15日16日に行われる、1300年以上の伝統を誇る海にまつわる物語を持ったお祭りです。この日は大勢の若者が熱海に戻り、一年間で一番の賑わいを見せます！祭りの見所は42歳の巨年をむかえた男性が御風車（ごほうりん）を担いで海の中へ入っていく「浜降り」です。そして、夜になると各町ごとに工夫を凝らしたきらびやかな山車が可中を行き交い、熱狂的な時間を迎えます！

楽しみながら「学び合う」場を提供！

6月30日(土) 10:30~12:30 東京にて開催！

事前オリエンテーション(無料)

「熱海の歴史や伝統を楽しく学ぼう！」

- ・祭りや神輿の意味について学べる
- ・お祭りを使う山車にペイントできる
- ・地元の方から祭りの歴史を聴ける

【会場】 SodaCCo 会場周辺マップ

東京都渋谷区代官山町9-10
東急東横線「代官山」駅 徒歩8分

7月16日(月・祝日) 熱海にて開催！

お祭り本番

「熱海の子どもと一緒に祭りに参加しよう！」

- ・祭り衣装で神輿担ぎや山車引掛けを親子で体験
- ・一番の見所「浜降り」を間近で観覧
- ・祭りや神社のつながりも学べる

✓体験プログラム終了後、熱海にて地域の人をお招きして実施報告会を行います！(9月頃を予定)
✓現地の様子はカメラマンが写真に収め、オリジナルの動画も作成します！

熱海こがし祭り体験プログラム 概要

- 定員：10組(先着)
- 対象：親子(子ども主に小学生を対象)
- 締め切り：7月9日(月) ※申込必須
- 参加条件
 - お祭り本番に参加できること
 - ※事前オリエンテーションへの参加を推奨しますが、当日プログラムのみの参加も可能です。
 - ※事前オリエンテーションに来られない方には別途情報共有いたします。
- プログラム参加費(海と日本プロジェクト特別価格)
 - 親子 6,000円(大人1名、子ども1名)
 - 大人1名追加 3,000円 子ども1名追加 2,000円
- 企画参加費、地元の法被レンタル、地元への御礼、昼食代、保険代が含まれます。

- 集合時間・場所
 - <集合> 7月16日(月・祝日) 09:00 JR東京駅集合
 - <解散> 同日 15:00 熱海市内解散
- (東京駅からJR東京駅のルート)
 - 東京駅→熱海駅→(伊東線に乗換)→東京駅
 - ※新幹線利用：約1時間 片道3,700円程度
 - 在東線利用(JR東海道線)：約2時間 片道2,000円程度
- 現場でのスケジュール(変更可能性あり)
 - 09:00 東京駅集合
 - 10:00 米宮神社にてお祈り/自己紹介
 - 11:00 祭り参加(子供神輿担ぎ)
 - 12:00 浜下り観覧
 - 13:00 昼食/フリータイム
 - 15:00 解散
- ※各組は夜の山車コンクールにも参加できます。

参加申込先 <https://goo.gl/xZ2rNB>

お問い合わせ info@matsurism.com または
マツリズムFacebookページにてメッセージください。

参加申込フォーム
(お申し込みと申込)

Facebook
イベントページ

マツリズム
Facebookページ

企画主催者・パートナー

【主催】一般社団法人マツリズム

「祭りの力で人と町を元気に！」をモットーに、地域の祭りの担い手を応援する団体です。地味な手不足に悩む地域の祭りや都市部の若者や外国人をつなげ、祭り文化の次世代への継承と地域活性化に貢献します。

【協力】製造町内会(熱海市)

※本プログラムは日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、次世代の子どもを対象に海の祭りを通して海の大切さを伝える取り組みです。

主催者代表

一般社団法人マツリズム
代表理事 大原 学

祭りの楽しさを伝え地域をつなぐ「マツリチーター」として、祭りの本質を体験してもらうプログラムを4年間で27回約630名に対して提供している。

アートディレクター 戸井 雄 直

現代美術の作家として活動する中で、アートと地域の関係に興味を持ち、2012年に熱海に移住。地域・芸術・事業の「よき関係」の構築を続ける。

あと子育てにコミニティ ~warmy~ウォーミー

楽しみながら子育てで、母親自身も生き生きと暮らせるように親子向けや母親向けのイベントを企画開催。2010年熱海に移住、5歳男子の母。

集客活動の動き

- 6月22日(金) | Facebookイベントページオープン(拡散協力のお願い実施) 子どものいる知り合いに個別にお誘いスタート
- 6月23日(土) | Twitter、Instagramにて告知
- 6月26日(火) | プレスリリース配信
- 6月27日(水) | ドコモ内のイントラネットにて配信、『海にいこーよ』に掲載
- 6月30日(土) | オリエンテーションにて声掛け、CFA亀田校にてチラシ設置
- 7月3日(火) | 墨田の児童館11校に対してチラシ配布依頼
お世話になっているNPO法人内にて告知メール配信依頼
- 7月7日(金) | オリエン開催先のCFA亀田校にて親御さん一人ひとりに声掛け
- 7月8日(土) | 知り合いの小学校の先生にチラシ配布依頼

Copyright 2018 一般社団法人マツリズム All Rights Reserved.

21

参加家庭の属性・参加ルート

参加人数20名に対して25名の参加と、目標達成。

No.	どこから来たか	子どもの年齢	参加ルート
1	東京	12歳	Facebookページを見て参加（代表大原の知り合い）
2	東京	8歳、6歳	告知依頼した組織から（直接依頼した方）
3	東京	7歳、3歳	告知依頼した組織から（直接依頼した方）
4	東京	6歳、3歳	告知依頼した組織から（最終的には直接声掛け）
5	神奈川	8歳、4歳	代表大原の個人的な知り合い
6	神奈川	4歳	代表大原の個人的な知り合い

振り返り

➤ 集客開始が大幅に遅れた。

熱海銀座の子ども会側で調整に時間がかかり、コンテンツ確定まで集客開始を待ってしまったが、**次回は調整の進め方や情報の書き方を工夫して、スケジュール通りの運用を行う。**

➤ 新規アプローチの工夫が不足していた。

① 広報基盤が整っていなかった

これまで大人向けのツーリズムをFacebook経由で募集していたため、他のSNSやホームページから集客できるような基盤を整えられなかった。**今後は広報の基盤を整えることを行っていく。**

② ターゲットへの直接アプローチの機会が少なかった

参加募集のチラシは殆ど配布するだけという形に留まってしまい、集客に繋がらなかった。**次回は直接対象者にプレゼンテーションできるような既存の場を探して声掛けを行う。**

③ 誰が情報発信すると効果的に集客できるかの発想が不足していた

親子向けのイベントが初めてだったため実績がなく、ネットワークも少なかったため集客に苦戦。**次回は「誰が情報発信すると安心感があり、興味を持ってもらいやすいか」の視点を持って、例えば子ども関連の団体と連携にしてその団体内のイベントとして開催したり、地域の人や団体からも参加者募集の情報発信をしてもらったりと工夫を凝らしていく。**

振り返り会について (台風のため実施中止)

概要

＜イベント名＞「銀座町内会×マツリズム」熱海こがし祭り振り返り会

＜日時＞ 2018年9月30日 (日) 16:00～17:30

→台風の影響にて中止の判断をしました。

＜開催場所＞ 静岡県熱海市 銀座商店街
コワーキングスペースnaedoco内

＜参加対象者＞

- ①熱海銀座の祭りの担い手、熱海銀座に住む人々
- ②祭り1日目のマツリズムの大人向けツーリズムに参加した人々

＜集客開始時期＞ 9月第1週

＜集客方法＞

- ①町内会の回覧板にて出欠確認
- ②マツリズムより直接声掛け

＜実施内容＞

- マツリズムの取り組み紹介
 - ①祭り1日目の大人向けプログラム
 - ②祭り2日目の親子向けプログラム
- 海と日本プロジェクトの説明、子ども達が書いた絵日記の共有等
- 親子向けプログラムの動画上映会
- 祭り1日目の体験者から感想等のシェア
- 熱海こがし祭りのこれからを考えるワークショップ

「銀座町内会×マツリズム」
熱海こがし祭り振り返り会

お菓子とお茶をご用意、
家で振り返りましょう♪

神輿担ぎ祭り盛り上げ
熱海新聞

銀座町内会の子どもの元気

銀座町内会のお世話になって3年目のマツリズムは、今年は県外から35名を招き、祭りに参加させていただきました！
銀座町内会の子ども達と子供神輿と一緒に担ぐプログラムの動画が完成したので、是非一緒に見ませんか？
自分たちにとって馴染みがある当たり前の「熱海」や「熱海こがし祭り」が、外からどのように映っているのかわかって新鮮で面白いかもかもしれません！

一般社団法人マツリズム 大原 学

【日時】 2018年9月30日 (日) 16:00～17:30
【会場】 サトウ橋ビル2F階 naedoco内
【参加費】 無料

イベント終了後は、行ける人で懇親会にも行きましょう♪

主催団体
一般社団法人マツリズム
「祭りの方で人と町を元気に！」をモットーに、地元の祭りの新しい手を広げる団体です。若い世代に馴染みのある祭りや都市部の若者や外国人をつなげ、祭り文化の次世代の継承と地域活性化に挑戦します。
※本プログラムは日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、2018年9月20日～21日開催に際しての振り返り会として実施される取り組みです。

協力サポーター
戸井田 雄
小沢 徹
安藤 真知子

【プログラム内容】
①マツリズムの取り組み紹介
②動画上映会
③祭り体験者の感想シェア
④熱海こがし祭りのこれからを考えるワークショップ

【問い合わせ先】 戸井田 ()、マツリズム大原 (080-6550-7084)